

きる、農家にとつても液肥である為散布に手間がかからない、残渣処理に時間を要しない、処理費の節約が可能である、ランニングコストが安価である、残渣処理にあたっては八工や臭気に問題がない、残渣処理に熱が発生しない、循環型システムが確立されている、供給先としてキビ農家や家庭菜園等に適しているのではないかとこのころが実感ですが、これからの課題をクリアして総合的に勘案して取り組んでいきたい。

質問 衛生管理組合の負担軽減へ将来において鋭意努力の必要性を感じるが施策があるのか。

答弁 町長「クリーンセンター、火葬場、と畜場の三つの施設を所管していますが、ごみ焼却施設の延命代が最重要であり、ごみ分別の徹底や溶融炉の耐火レンガ負荷及び燃費の効率性等維持管理費の削減に努めながら運営にあたりたい。

質問 昭和三十五年に簡易水道が中部地区に

給水が始まって以来五十年(半世紀)の年月が経ているが節目として記念行事を計画してはどうか。

答弁 町長「現在の本町水道事業普及率は99・6%で国、県よりも上まわっています。五十年の節目を迎え水道事業の発展に尽力された方々のご苦勞を考えると記念事業を実施することは大事であります。五十年の歴史を綴った記念誌の発行、写真展、施設見学会、本事業の普及に尽力された方々の表彰等考えて実施の方向で進めたい。



ミチュイポンプ場

質問 町民の重要なライフラインである上下水道の将来へ硬度低減化も含めどう取組んでいくのか。

答弁 町長「平成二十一年に知名町地域水道ビジョンを策定し十年後の

不妊治療費の助成は出来ぬか。町長... 慎重に検討を重ねたい。



今井吉男議員

質問 島外で不妊治療を受ける際に旅費等の助成は出来ないか。

答弁 町長「鹿児島県で「不妊治療費助成事業」を実施していますが、町としてはご夫婦のプライバシー保護の観点からも、保健所と連絡を取りながら慎重に検討を重ねたい。

のあるべき姿を示してあります指標として安心、安定、持続、環境、管理があり目標を設定してあります。硬度低減化についても町民の賛同を得ながら平成三十年度迄に実現できるようにしたい。

質問 「子ども手当」申請締め切りが九月三十日に迫っているが、本町で未申請者はいないのか。

答弁 町長「町内の対象者は、全員申請済みです。

質問 全国で所在不明の高齢者が問題になっているが、本町で所在不明者や戸籍等の問題発生はないか。

答弁 町長「知名町の百歳以上の所在不明者は百三十六人で、最高齢は明治元年生まれの百四十二歳となっておりますが、戸籍上生存していても、国民年金等の行政サービスは住民

票を基にしている為、行政上の影響はありません。

質問 現在AED(自動対外式除細動器)が町内数ヶ所に設置されているが、夜間や休日利用できない場所があるので、緊急時に二十四時間いつでも利用できる場所に設置できないか。

答弁 町長「本町には各十六箇所に設置されているが、日常の管理ができない場所への設置は厳しいものと考えています。



AED(自動対外式除細動器)